



会員企業をたずねる

女性の力、女性の声

このコーナーは、会員企業をたずね、物流業界で働く女性社員に業務内容や、職場の取り組み、個人の抱負などを語ってもらうコーナーです。



第42回

東京九州フェリー株式会社

新門司支店

西川 史絵里さん

PROFILE

2021年入社。2カ月間の研修を経て、新門司支店に配属。旅客・貨物の予約受付、窓口での接客、各種イベントの企画・運営、車両誘導、事務作業など幅広い業務に携わる。北九州市出身。高校時代は写真部に所属。休日はドライブがてら出かけて、季節の花や風景を撮影しながらリフレッシュしている。

マルタスクにより成長を実感

——入社の志望動機を教えてください。

幼いころから家族で阪九フェリーを利用することがあり、乗船するたびに笑顔でお客様対応にあたっているスタッフの姿に興味を抱いていました。また、高校時代は地域のボランティアクラブに所属しており、募金活動や清掃活動、イベントのお手伝いなどを通じて、卒業後は地元で人と関わる仕事に就きたいと考えるようになりました。ところが、2020年に迎えた就職活動はコロナ禍の真ただ中で、求人が激減してしまいました。一縷の望みにかけて阪九フェリーに連絡したのが当社を知ったきっかけです。グループ会社の当社なら翌年の就航開始に向けて採用があると教えていただき、入社を決めました。

——入社当時のことを教えてください。

私たち同期6人が当社における新卒入社1期生になります。入社した当時の社内は、7月に迎える就航開始の準備で大変な状況で、新人研修は小樽にあるグループ会社の新日本海フェリーで行われました。親元を離れて初めての北海道は少々不安でしたが、同期の仲間がいてくれたので心強かったです。2カ月間にわたってさまざまな知識やスキルを学び、研修後は、就航に向けての準備作業に携わりながら業務の習得に努めました。

——現在の担当業務について教えてください。

就航開始から半年間は旅客対応を中心に担当し、年末からは駐車場での車両誘導やトラックへの積み込みなど、現場作業にも携わっています。また、売店の商品計画や集客のためのイベント企画・運営、データ集計なども行っています。当支店は男女の区別なく誰もがマルタスクを習得して活躍することを目指しており、社内唯一のモデル支店になっています。初めて現場に出たときは、トラックのあまりの大きさに驚きましたが、先輩に教わりながら必死に誘導の仕方を学びました。振り返ってみると、1年目からいろいろな経験をさせていただきました。そのおかげで自信もつきましたし、自分自身の成長を感じています。また、OJTのように直属の先輩がいないことも良い経験になったと思います。同期が集まり試行錯誤する中で、お互いの絆も深まりました。

経験を積むことで仕事の幅を広げる

——仕事をする上で、どんなときにやりがいを感じますか。

お客様やドライバーの皆さんから、お礼を言われるときです。顔見知りのドライバーの方から、「今日はフロント業務なんだね」など声を掛けてもらうこともとてもうれしく思っています。また、お体が不自由なお客様がいらした際に、お客様の船旅が少し

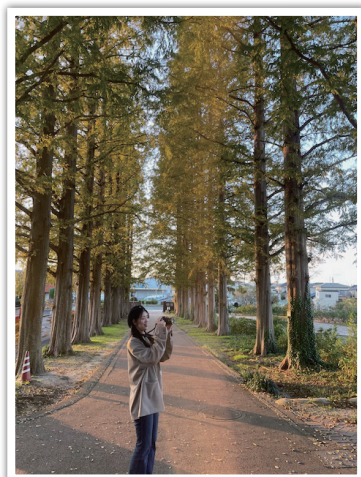
でも快適になるよう、クルースタッフにも協力いただきながら動線を工夫したところ、後日お礼のお手紙をいただき、とても感激しました。

——仕事に臨む際に心がけていることを教えてください。

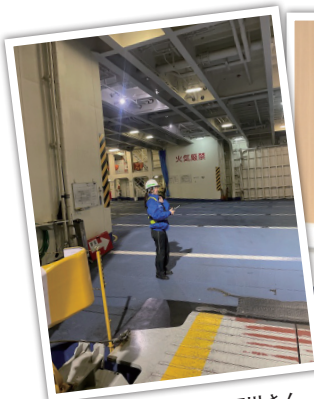
旅行目的のお客様には乗船したことが旅の良い思い出の一つとなるよう、またドライバーの方たちには休憩時間となる乗船中にくつろいでお休みいただけるよう、笑顔の接客を心がけています。また、接客にあたる際は、お客様と直に接する私たちが会社の顔であることを常に意識するようにしています。

——ワークライフバランスのとり方について教えてください。

フェリーの就航に合わせ、勤務時間が15:30から24:30となっており、休日もしフト制なので、当初は



◀旅先で撮影する西川さん



船内で作業をする西川さん



受付での接客業務

夜眠くなったり、就寝中に起きてしまったりと、慣れるまで苦労しましたが、リズムができてからは苦ではなくなりました。残業も少ないので、オンオフのスケジュールも組みやすく働きやすいです。

——今後の抱負をお聞かせください。

現在は支店内の仕事に従事していますが、さらに仕事の幅を広げ、経験を増やしたいと考えています。その一つが営業です。営業の経験が支店内業務に生かせることも多いと思います。また、家族の影響もあり幼少のころからフェリーに親しんできましたが、当社のフェリーにはまだ乗船していません。お客様の気持ちを確認するためにも、近いうちにぜひ乗船したいと思っています。

——ありがとうございました。

会社概要

東京九州フェリー株式会社

本社住所：北九州市門司区新門司北3丁目1番地30

設立：2019年

代表者：代表取締役社長 小笠原 朗

従業員数：36名（2024年4月現在）

【事業概要】

SHK ライングループグループ各社の出資により2019年に設立。2021年7月、モーダルシフトによる海上輸送需要の増加を背景に、関東圏と九州圏を結ぶ大型高速フェリー航路として、横須賀～新門司航路の就航を開始した。SHKラインによる関東～九州間の直通航路は、1973年から1976年に営業された東九フェリー（現・オーシャン東九フェリー）以来となる。東京～北九州間には、既存航路で見られる個室重視・船内施設の充実に加え、出港地である九州各地や神奈川の名物料理を船内調理で提供するなど、さまざまなサービスで差別化を図っている。



新門司フェリーターミナル